

## 調査支援業務委託 上原遺跡発掘調査概報

昨年度から発掘調査を実施している上原遺跡は、茅ヶ岳西麓の緩やかな尾根上に位置しています。沢を挟んだ南側には国の史跡となった梅之木遺跡、北側に上ノ原遺跡が所在しています。



昨年は縄文時代24軒、平安時代63軒の竪穴住居が見つかり、その他に古墳時代の遺構が1基確認されました。

縄文時代の住居の時期は出土した遺物から縄文時代中期後半（5,000～4,500年前）が中心で、広場を囲んでドーナツ状に住居が並ぶ環状集落の西半分であることが分かりました。集落の大きさは直径60～80mほどの規模と推定され、この時期の集落の形としては多くみられる形態です。隣接する梅之木遺跡や上ノ原遺跡でも同じ時期の環状集落が営まれており、近隣の遺跡との関係性が注目されます。

特徴ある遺構として63号住居と96号住居が挙げられます。

63号住居では埋甕が3個、周溝を3本確認しました。住居の建て替えや拡張に伴って新たに周溝を掘りめぐらしていると推測できます。埋甕には亡



くなった子供の再生を願う、胎盤を入れて子供の成長を願う、貯蔵するためなどの説がありますが、この住居では住居の建て替えの際に埋甕を埋めるといった「建築儀礼」の意味が込められた行為となっていた可能性も考えられます。96号住居では石囲い炉の奥に立



石のある住居が見つかりました。住居内での祭祀の意味合いを持つものと考えられます。

一方、平安時代の住居は尾根上に分散するように展開し、カマドの位置や出土品の時期から9～11世紀に営まれた集落と考えられます。

注目されるのは61号住居から馬具（轡）が出土したことです。平安時代の住居から出土する例は県内初であり、馬を放牧・生産していた牧との関連がより強く想定されます。

轡は一部が破損している状態で出土したことから、修理のために一時保管していたのか、もしくは錆潰して再利用するために住居内に持ち込んでいたのかもしれませんが。



これまで茅ヶ岳西麓の複数の遺跡から小笠原牧に関連する発見が相次いでいます。今回の馬具の発見により牧が当地で展開していた可能性がますます高くなったといえるでしょう。小笠原牧の範囲や各遺跡の牧における役割を解明していくことが今後の課題です。

今年度も引き続き調査区東側の調査を行っています。今後の調査にご期待ください。

（調査補助員 小熊詩音）

※埋甕…住居出入り口に埋められた土器

※周溝…排水や壁にする板を固定するために壁際に掘りめぐらせた浅い溝

## ＝八代家住宅でイベントやります＝

昨年度は諸事情により八代家に於けるイベントの開催に至りませんでした。今年度は秋に開催することが決定しました。

日時はまだ決まっていますが、農繁期が過ぎた頃の開催を目指し、準備を着々とすすめているところです。



内容については、せっかく八代家でイベントをやるのであれば、八代家に所縁のあるものにしようということで、現当主八代謹蔵さんのお父様が、かつてこの家で主宰していた合唱団「ノルダ ステアロ」（エスペラント語で北巨摩の星という意味）の思い出溢れるコンサートを計画しているところです。

詳しくは後日ご案内いたしますので、楽しみにお待ち下さい。

## ＝役員の変更がありました＝

去る5月29日（木）に特定非営利活動法人茅ヶ岳歴史文化研究所定時会員総会が開催され、任期満了に伴う役員の変更が行われました。新役員は以下の通りです。

理事長	仲沢 市夫（再任）
副理事長	遠藤 均（再任）
理事	深沢 守雄（再任）
理事	厚芝 金夫（再任）
理事	柴山 裕子（新任）
監事	小泉美津夫（再任）

この新体制のもと、「八代家住宅活用事業」をはじめ、「伝統芸能伝習事業」などに精力的に取り組んでいく予定です。今後とも皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

## ＝第5回伝統芸能研修会開催決定＝

昨年は、当法人の元学芸員、内海美佳さんを講師にお招きし開催しました、明野町民俗芸能保存会による、「伝統芸能研修会」を今年も開催することが決定いたしました。



当法人はこの事業の事務局として、引き続きお手伝いをいたします。

毎年、春季例大祭でお神楽の奉納を実施している6つの団体に加え、今春から神楽が奉納されることになった三之蔵神社の神楽団が参加し7団体での開催になります。

この研修会の趣旨でもある、後継者の育成という点においては、三之蔵神社の神楽団発足は朗報であり、衰退の一途をたどる地域の伝統芸能に一筋の光明が射したような気がします。

研修会の詳しい内容については、後日チラシを発送させていただきますので、お誘い合わせのうえ、是非ご来場下さい。

## ＝会員募集＝

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

### こんなことをやってみたい人は、ぜひ！

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金 1,000 円

年会費 2,000 円

### かやぶんかわら版 第77号

平成26年7月25日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所  
(かやぶん)

TEL/FAX 0551-45-7672

ウェブサイト <http://kayabun.web.fc2.com/>

e-mail [kayabun@hotmail.co.jp](mailto:kayabun@hotmail.co.jp)